



勝呂小だより

【学校教育目標】 心豊かに 美しく かしこく やさしく たくましく

令和6年4月15日 第2号

坂戸市立勝呂小学校 校長 臼井 健一

【 令和6年度「教育方針・目指す学校像・児童像」等について 】

4月8日、校庭の桜が見事に満開を迎えた中で「入学式」「始業式」を行うことができました。そんな今年の入学式・始業式の桜のように、子供たちがもっている花を満開に咲かせていく教育活動に取り組んでまいります。そこで、今年度の勝呂小学校の教育活動について、次の教育方針等を掲げましたので、お読みください。これにつきましては、学校だけではなくご家庭と地域との深い連携のもと、一緒に考え、同じ方向性のもとで進めていくことが大切であると考えております。

ぜひ、お互いの情報交換等を大事にしたうえで、学校とご家庭・地域の教育力を結集させて教育活動を展開してまいりますのでどうぞよろしく願いいたします。

1 令和6年度坂戸市立勝呂小学校「教育方針」（年度当初に校長から教職員へ伝えた内容より）

小学校で学ぶ子供たちに、6年間を通してどんな力を培い、どんな心を育て、どんな力を身につけさせるのか、これが子供たちの今後の人生の大きな力となり、人生の指針となっていきます。教育には、人づくりと将来の社会を担う国づくりという大きな使命があります。そのためには、子供たちが自身の人生と社会の未来を自分（たち）の力で切り拓ける「自立の力」を育てることが大切です。そして、順風満帆な時はそれを当り前と思わず感謝を大切にし、苦難や課題に直面した時は謙虚な気持ちでゴールを見据え、最終的に自分（たち）で解決できる力を身につけることで次なる苦難や課題も乗り越えられます。そんな子供たちを育てていきましょう。

私たち教職員は、それに向けて、子供をどう教えるかではなく、子供にどう学ばせ、どう学ぶ子供たちに育てていくかが大切です。学習面・生活面・人間関係づくり、生きる力等、そのすべてにおいて、子供たちの自ら学ぶ意欲に火をつけ、学ぶ力を支え、学ぶ姿を見届けていく使命が私たちにはあります。それは、子供たちが夢中で学び、取り組み、活動している姿に表れます。そんな子供たちとすべての教職員の力を結集させて、さらに笑顔あふれる勝呂小学校を創り上げていきましょう。そのための手段は様々ですが、様々な教育活動において、常に「目的」や「ねらい」は何かを確実にふまえ、全教職員で同じ方向を向いて学校づくりを進めていきましょう。

「教師は児童の鏡」です。教職員間の輪と思いやりを大切にすることは、児童間の輪と思いやりを育てることに繋がってきます。言葉を大切にする教師から、言葉を大切にすることが育ちます。子供を自分の思い通りにするのではなく、子供の心に火をつける教師を目指しましょう。「世界はだれかの力でできている」という言葉がありますが、学校もその一つです。様々な役割で、場面で、取組で、学校はつくられます。皆さんのそれぞれの持ち味を活かし、自分色の花を咲かせ、教職員一人ひとりが輝く学校づくりを進めていきましょう。そして、子供たち一人一人を大切にし、子供たち一人ひとりが自分色の花を咲かせ、みんなが輝き、みんなの笑顔があふれる学校づくりを進めていきましょう。

2 目指す学校像

「一人ひとりが自分色の花を咲かせ、みんなが輝く笑顔あふれる学校」

- (1) 自分色の花を咲かせるために
 - ① 児童の話をよく聴く、児童の考え、特性、背景、強み・弱みを知る
 - ② 児童の良さを引き出す、生かす、支える、見届ける
 - ③ 認めて、褒めて、伸ばして、自分の良さを知る（自己肯定感、自己有用感の向上）
- (2) みんなが輝くために
 - ① 一人ひとりを大切にする
 - ② 自分色の花を咲かせる工夫と活かせる場面の設定
 - ③ 児童一人一人に、輝いている自分の成就感を味わわせる
- (3) みんなの笑顔があふれるために
 - ① 「聴き合い」「折り合い」「支え合い」を大切にする
 - ② 人を大切にする、自分を大切にする
 - ③ 輝きを喜び合い、輝きを広げる

3 学校経営方針 「共感」「共鳴」「一体感」～みんなで考え、みんなでつくりあげる学校～

【共感】 思いを共に共有し、共に感じて、共に考える。

【共鳴】 「共感」を自分のものとして、まわりにも広げる。

【一体感】 「共感」「共鳴」をもとに、みんなの力でより良い学校を創り上げる。

4 目指す児童像

- 「かしこく」 ・お互いに聴き合い、他者の考えをもとに、自ら学びを深める子
・お互いに分らなさを共有し合い、自ら探求し、夢中になって学ぶ子
- 「やさしく」 ・謙虚な気持ちで、認め合い、折り合いを大切にできる子
・言葉を大切にし、支え合い、助け合いを大事にする子
- 「たくましく」 ・挑戦や失敗を通して成長を積み重ね、最後までやりぬく子
・善悪の判断でき、正しいことを貫き通せる子

5 目指す教職員像

- (1) 言葉を大事にし、一人一人の子供の心を大切にする教職員
- (2) 子供の気持ちに寄り添い、一緒に考える教職員
- (3) 授業で主体的に学ぶ子供を育てる教職員
- (4) お互いに聴き合い、支え合い、学び合い、同僚性を高める教職員
- (5) 謙虚に自分を振り返り、子供の姿から学ぶ教職員
- (6) 子供たちに自立する力を育てる教職員

【毎日、登下校で子供たちを見守っていただき、誠にありがとうございます】

4月9日より、新たに1年生も登下校が始まりました。さっそく班長の子供たちが、1年生に優しく声を掛けてくれており、子供たちの中での安全意識の高まりを感じています。そして、地域の見守り隊や交通指導員さん、保護者の方々が交差点や危険箇所等を中心に見守っていただいていることで、子供たちが安全に登下校することができています。毎日、朝早くからご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、登下校班への付き添いにつきましてもお世話になりますがよろしく願いいたします。



〔石井郵便局前の交差点にて〕